



① 庄巻、1200店がひしめく弘法市

東寺 初弘法

どしどし はつごぼう

約1200店が立ち並び、20万人もの人で賑わう弘法市は、月に一度、東寺に出現する商店街といっても過言ではないほど。お正月気分も加わり、初弘法は一段と楽しい雰囲気です。

オススメドライブコース
巨摩池IC→油小路通→国道1号

〒京都市南区九条1
075-691-3325
1月21日(土)
午前8時～午後4時
なし
(京都駅八条口周辺等に民間駐車場あり)

Casual Trip

思い立ったらぶらっとドライブ

縁日でにぎわう各地の門前市へ「緑立つ道」で快適アプローチ!

② 北野天満宮
③ 清荒神清澄寺
④ 石山寺
⑤ 東寺

所在地
店舗、露店の営業時間
開催日時
駐車場

⑥ 数万人が参拝する初荒神さん

清荒神清澄寺 初荒神 (初三宝荒神大祭)

きよらごんせいせいじょうしん はつごらごん

火の神様、台所(かまど)の神様として親しまれている清荒神は、1100年余の歴史を刻む古刹。参道には土産物屋や飲食店などのほか、露店も軒を連ね、門前の風情も格別です。

オススメドライブコース
久御山J.C.T→大山崎J.C.T→名神高速道路吹田J.C.T→中国自動車道宝塚IC→国道176号→宝塚歌劇場前交差点を北へ

〒兵庫県宝塚市米谷字清し
0797-86-6641
1月27日(金)・28日(土)
午前8時～午後5時
(店によって異なる)
あり・約200台
(28日は交通規制のため使用不可)

⑦ 春を待つ人々が訪れる初天神

北野天満宮 初天神

きたのてんまんぐう はつてんじん

京阪神はもとより全国から人が集まる初天神。千数軒の露店が軒を連ね、買い物客は15万人ともいわれます。受験シーズンでもあり、合格祈願の参拝客も多数訪れています。

オススメドライブコース
巨摩池IC→油小路通→堀川通→今出川

〒京都市上京区馬喰町
075-461-0005
1月25日(水)
午前6時30分～午後9時
神社駐車場は当日使用不可
(京都市駐車場公社・二条城駐車場等を利用のこと)

⑧ 現代に復活した門前市

石山寺 初牛王

いしやまでら はつごおう

石山寺の本尊・如意輪観音菩薩(牛王さん)の縁日に立つ市です。門前表境内に有機野菜や和装小物、骨董品など40あまりのお店が並びます。中には、ファンが多い古布のお店も。

オススメドライブコース
久御山J.C.T→京滋バイパス→石山IC→国道422号

〒滋賀県大津市石山寺1-1-1
077-537-1105(石山観光協会)
1月18日(水)
午前9時～午後3時
大津市石山寺観光駐車場を利用のこと

再発見

北河内+再発見

きたがわうちょう さいはっけん

古代の宮跡を訪ねて 交野天神社<枚方>

1200年余の歴史を伝える社殿
京阪本線榊原駅の北東約2kmに位置する交野天神社は、延暦6年(787)に桓武天皇が父・光仁天皇を祀ったことを起源とする神社です。中国には皇帝が都の南に天壇を設け、冬至に天帝を祀る例があり、それにならって長岡京の南にあたる当地に天神(光仁天皇)を祀りました。一間社流造の本殿と末社八幡神社は美しい曲線を描く松皮葺の屋根、面取りをした柱などに特徴がある建物で、いずれも国指定の

重要文化財。鎌倉、室町時代に修復され、その様式を今に伝えています。また、本殿の臺殿と呼ばれる装飾は、松竹梅などをあしらった繊細な彫り物として知られ、平成17年竣工の修復作業で室町時代の華やかな彩色が復元されました。

神社名は、「かたのあまつかみのやしろ」と読みますが、後世に菅原道真も祀ったため、「かたのてんじんしゃ」とも呼ばれています。

神々の鎮る森
神社を囲む森は榊原宮跡の杜として枚方八景に選定され、大阪みどりの百選の一つにもなっています。すぐそばに住宅が迫るとは思えないほど、多くの木々が手付かずのままに生い茂り、小鳥のさえずりも賑やかに聞こえています。

web「緑立つ道」編集室でさらに詳しく!

交野天神社 枚方市榊原2-19-1 TEL: 072-857-7332



緑立つ道

みんなで作る・みんな育てる

Voice

「北河内発掘!!」

榊原川市榊原地区 讀良郡奈里遺跡

並木園監: トウカエデ / 「みどり」と「みち」のデザイン: 榊原川市榊原地区 / どこまでできた? 「緑立つ道」/ Casual Trip: 門前市 / 北河内+再発見: 古代の宮跡を訪ねて・交野天神社<枚方> / 工事現場REPORT

Vol. 52
2005.12

工事現場 REPORT 事業説明会を開催しました

国土交通省浪速国道事務所と西日本高速道路株式会社枚方工事事務所は、去る11月17日(木)午後7時30分より、榊原川市民会館(大ホール)において、第二京阪道路事業の説明会を開催しました。当日は事業者(浪速国道事務所・枚方工事事務所)が第二京阪道路の概要とこれまでの経緯、事業の必要性と整備効果、現在の状況と今後について説明した後、参加者からの質問にお答えしました。

西日本高速道路株式会社スタート

平成17年10月1日をもって、日本道路公団の分割・民営化により、西日本地域については、西日本高速道路株式会社が新たに設置されました。

新会社は、これまで高速道路が果たしてきた役割を引き継ぎ、安全・安心の道路空間をお客さまに提供するとともに、社会貢献に努めてまいります。

地域から愛され、お客さまに喜ばれる第二京阪道路の完成をめざして社員一丸となって全力で尽くしてまいりますので、今後ともよろしく願っています。

西日本高速道路株式会社 枚方工事事務所

「緑立つ道」はここで入手できます。

- 国土交通省 近畿地方整備局 浪速国道事務所
枚方市南中區3-2-3
電話: 072-833-0261 (代)
- 西日本高速道路株式会社 関西支社 枚方工事事務所
枚方市東田區2-6-1
電話: 072-846-2231 (代)
- みちまちスクエアきた
大阪駅前第2ビル地下2階(JR北新大阪駅東改札口付近)
電話: 06-6342-4401
- みちまちスクエア長堀
クリスタ長堀(地下鉄御堂筋線心斎橋駅付近)
電話: 06-6282-2010

バックナンバーのお問い合わせは、浪速国道事務所まで(一部在庫が不足している号もあります。ご了承ください)

これまでの経緯について

第二京阪道路(大阪府域)は昭和44年に都市計画決定(一部は昭和46年)され、昭和60年から用地買収に着手してきました。また、環境アセスメントを行ったうえで、平成2年と平成4年には環境施設帯を設置する事を盛り込んだ内容で、都市計画変更が行われました。その後、平成8年から工事に着手し、国道307号より京都側については平成15年3月に供用しました。現在は引き続き国道307号以南の事業を進めています。

現在の状況と今後について

現在、事業を進めている国道307号から近畿自動車道間の進捗状況は、用地取得が約96%(面積ベース)工事の発注は66%となっていますが、現在の状況をふまえ、今後は諸手続きも勘案し、地域のみなさまのご理解とご協力をいただきながら、平成21年度の供用を目標に事業を進めていきます。

今後も、北河内地域の産業や経済の発展と暮らしの安心に寄与し、近畿圏の経済活性化に貢献する第二京阪道路の早期完成を目指して努力していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

ホームページへのアクセスお待ちしています。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/naniwa/>
国土交通省 浪速国道事務所

<http://www.w-nexco.co.jp/>
西日本高速道路株式会社 枚方工事事務所

道についての情報は「道の情報」にお知らせください。
0120-106-497
(フリーダイヤル)

平成17年10月1日
西日本高速道路株式会社スタート
詳しくは裏面をご覧ください。

第8回「緑立つ道」ハイキング

みなさんのご意見をお聞かせください。

実感しよう! 第二京阪道路「緑立つ道」

今回のハイキングは、交野市の工事現場と文化財調査をしている現場を見学していただきます。メイン会場にお越しいただくと、それぞれの現場までご案内いたします。多数のご参加をお待ちしています。

日時 平成18年1月21日(土) 午前10時～午後3時

場所 メイン会場 いきいきランド交野(交野ドーム)
・見学現場: 交野市倉治地区(メイン会場からシャトルバスを運行)
・文化財現場: 交野市青山地区(メイン会場から徒歩10分)

平成18年1月21日(土) 参加自由

※各会場とも定員はありません。見学現場、文化財現場には駐車場がありませんので、当日はメイン会場へお越しください。

発行: 国土交通省 浪速国道事務所 / 西日本高速道路株式会社 枚方工事事務所

北河内発掘!!

「緑立つ道」で、古代のロマンに触れる



北河内を北東から南西に横断している「緑立つ道」。現在では、平成12年度から始まった大規模な現地調査も終わりに近づきました。その調査成果の一部をみなさんに公開するため、発掘調査展と講演会が寝屋川市民会館で行われました(平成17年11月19日~23日)。今回、レポートしていただいたのは読者のさんとさん姉妹。「緑立つ道」にそった古代のロマンに触れていただきました。



発掘調査展

寝屋川市民会館では、財団法人大阪府文化財センター京阪調査事務所長の山本彰さんにお話をうかがいました。

「縄文時代には大阪平野の大部分は海で、そのほとり人が暮らしていました。その後、淀川などが運んでくる土砂によって三角州が発達し、古墳時代になると海は小さくなって河内湖に姿を変えました。その後、現在のよう大阪平野ができました」

「なるほど〜」

縄文時代中期の大板(約5~4千年前)には、河内湾が広がっていました。く(2002)を原図として加算)

「これは古墳時代に作られた馬の鞍の一部です。古墳時代には、河内湖畔の寝屋川や四條畷周辺では渡来人が馬を飼っていたようです」



「こんな感じ?」

「今回の調査展では、ガラス越しではなく、発掘されたものを間近に見ることができるように計画したんですよ」

「あっ、勾玉。ガラスのビーズもありますね」

「発掘された土器の破片を組み合わせることができる体験コーナーも設けました」

「これは、水ガメとして利用されていたようです」

「大きいですね。どんなところで発掘されたのですか?」

「寝屋川市の讃良郡条里遺跡というところですよ」

「では、発掘現場に行ってみましょう。」

「これは、水ガメとして利用されていたようです」

記念講演

11月23日に寝屋川市民会館で発掘調査の発表が行われ、文化財と開発のありかたなどを語る記念講演会も行われました。この中で、財団法人大阪府文化財センターの熱く考古学の魅力を語る氏「緑立つ道から北河内の古代よみがえる」をテーマに、北河内の歴史と発掘成果を熱く語られました。「この道は北河内にとって重要な道路です。文化財調査にあたっては、道路を造る側と文化財を守る側が協力し、詳しく調査することができました。これまで大規模な調査がされていなかった北河内で本格的な発掘調査を行い、さまざまな成果が得られました。これは、文化財センターや考古学者だけでなく、あらゆる分野の研究者や関係者の協力のおかげです。今回の成果が北河内の歴史的价值を高め、研究が深まることを期待しています」

寝屋川市楠根地区 讃良郡条里遺跡

現代から各時代の層を掘り下げて、現在は弥生時代の地盤が見えています。白い線は弥生時代の田んぼのあぜの跡。

「ここで説明をしてくれたのは、財団法人大阪府文化財センターのさんです。」

「広いですね〜」

「この場所は生駒山系から流れて、湿地帯の中に小高くなった場所が広がっていました。川が山から海へと流れ、湿地帯の中に小高くなった場所が広がっていました。川が山から海へと流れ、湿地帯の中に小高くなった場所が広がっていました。」

「地面をよく見ると土の色が変わっているんですよ。たとえば柱が立っていた穴が埋まると、そこだけ土の色が変わるんです」

「この場所は生駒山から続く斜面の先端にあたるため、何度も洪水に襲われたようです。何度も土砂で埋もれたので、弥生時代、古墳時代、奈良時代と過去の地層が残っているのです。その時代ごとに薄く地層をはがしていくことで、ページを開くように、この土地で生きてきた人の営みがわかります」

「古くは縄文時代から、ここでは人々が暮らしていたんですね」

「それが発掘でわかるってすごいわね。何千年後の人もここを発掘して21世紀の初めに道路が造られたんだって言うのだから」

「うーん、想像できへん」

「古くは縄文時代から、ここでは人々が暮らしていたんですね」

「この場所は生駒山から続く斜面の先端にあたるため、何度も洪水に襲われたようです。何度も土砂で埋もれたので、弥生時代、古墳時代、奈良時代と過去の地層が残っているのです。その時代ごとに薄く地層をはがしていくことで、ページを開くように、この土地で生きてきた人の営みがわかります」

「古くは縄文時代から、ここでは人々が暮らしていたんですね」

「それが発掘でわかるってすごいわね。何千年後の人もここを発掘して21世紀の初めに道路が造られたんだって言うのだから」

「うーん、想像できへん」

埋蔵文化財調査の流れ



Advertisement for '並木デジフォト' (Nanaki Digital Photo) featuring 'トウカエデ' (Acer buergerianum) trees. It promotes a collection of digital photos and a home page for the 'Green Standing Road' project.

Advertisement for '山根街道' (Yamanegi Street) renovation project. It shows a 3D rendering of the street and mentions the 'タチ川' (Tachi River) nearby.

Advertisement for the 'Green Standing Road' project. It includes a map showing the route from Naniwa to Yodogawa and photos of the bridge construction progress.